

総務建設常任委員会

委員長 藤野

副委員長 脇田

委員員小林

委員員藤木

委員員黒川

委員員鳴海

委員員時任

総務課

財産活用課

政策経営課

町営住宅建替事業

今後の財政見通しと平成29年度サマーレビュー結果



建設中の町営住宅

問 杭打ちの時、一本だけ工法が変わっているが、金額的にどうなるのか。
答 杭の部分は増額になる。

地域防災計画を一部改訂し、新たに避難所運営マニュアルと要援護者災害時支援マニュアルを策定。その他に職員の初動マニュアルや災害時の業務継続計画等の取りまとめも行っている。

年度末には、全世帯を対象に防災ハンドブックを配る準備をしている。

問 指定避難所に入つていいかない自治公民館があるが。
答 土砂災害警戒区域に入っているので、避難所から外している。

4年間を振り返って

今期においては、平成28年

※サマーレビューとは、事業の見通しや予算の洗い直しなどの組織的な検討を行うこと。

度国民健康保険税医療分を1432年度までに10億3千万円の収支不足を改善するため四つの改革措置を定めている。

次に、昨年度実施したサマー

レビュードで経常経費を約1億3千万円削減したことにより、本年度は1億3,500万円の財源不足が解消された。

また、本年度のサマーレビューは、30年度当初予算において1億2千万円の削減額を目標に実施した。

その結果、経常経費を対象に29年度当初予算と比較すると約7千万円の削減見込みとなつた。

問 電力の自由化による電気料金の削減額は。
答 全体で1千万円を超える減額である。



左から 脇田副委員長 鳴海委員 滝野委員長 黒川委員 小林委員 時任委員 藤木委員

厚生文教常任委員会

及び長屋建て住宅が対象。
放置すれば危険な状態になる「特定空家」に優先的に取り組む。

平成29年11月現在、151件の空家を確認。

問 認知症初期集中支援
チームの支援内容は。

答 専門研修を受けた医師、
医療・福祉専門職2名

以上

の支援チームが、家族の

訴え等により認知症が疑われ

る人や認知症の人及びその家

族を訪問し、家族支援などの

初期の支援を包括的、集中的

（おおむね6か月）に行い、自

立生活のサポートを行うもの

で、平成30年4月設置に向けて準備中。

問 空家の利活用という点
で、文化財的な価値のある古民家の保存も必要ではないか。

答 値値ある古民家については、保存の方向を検討するよう空家等対策協議会に提案したい。

書館を使った調べる学習コンクール全国大会へ出品。
11月19日、ふみの里まなびの森フェスタの式典で表彰式を実施した。



調べる学習コンクール応募作品



左から 犬塚副委員長

飛賀委員長

南里委員 松下委員 古賀委員

藤木委員